

中学校1年生 新しい教科書を活用した家庭学習例

第18回	課題内容
国語	<p>【ページ】 p49～53 【教材名】 「ちょっと立ち止まって」 【学習のしかた】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 教科書p52の【新出漢字】をノートに5回ずつ書く。(読みがなも書く。) ② 教科書p49～52を音読する。 ③ 段落に番号をつける。(音読しながら、番号をつけてもよい。) <p>【気をつけること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 筆順にも気をつけましょう。(p298～299を参考にしましょう。) ・ 丁寧な字で書きましょう。 ・ 段落は全部で10段落あります。
社会	<p>【地理的分野】 【ページ】 p46～47 【単元名】 「資源が豊富な西アジア・中央アジア」 【学習のしかた】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①教科書を1回読む。 ②太字の語句を10回ずつ書く。 ③西アジアと中央アジアでとれる資源について本文に下線を引く。 <p>【歴史的分野】 【ページ】 p64～65 【単元名】 「武家政治の始まり」 【学習のしかた】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①教科書を1回読む。 ②太字の語句を10回ずつ書く。 ③源頼朝が始めた政治が、武士に支持された理由を説明する。 <p>【気をつけること】 「源頼朝が始めた政治が武士に支持されたのは」で書き始め、「～だったから」で文章を結びましょう。</p>
数学	<p>第18回 単元名「正の数・負の数の計算③」 教科書 p 2 6 【学習のしかた】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 第17回の学習(P25)のまとめであるP26「正の数・負の数の加法」と読み、内容を確認しましょう。 <p><見方></p> <p>P26「正の数・負の数の加法」は、計算方法を言葉でまとめたものです。 同符号の2数の和のイメージは、$(+○) + (+△) = + (○+△)$ 2数の符号が同じとき、計算結果の符号は、2数と同じ符号、計算結果の数は、絶対値の和(足したのも) 同じように異符号の2数の和を考えてみるとよいでしょう。</p> <p>【ポイント】 ○ P26の「正の数・負の数の加法」にある、$(+3) + (+5) = + (3+5)$のように具体的な計算と比較しながら、まとめ P26の「正の数・負の数の加法」の内容を確認するとよいでしょう。</p>

<p style="text-align: center;">理科</p>	<p>【ページ】 p37 【単元名】 「身近な生物の観察」 【学習のしかた】 ① 教科書p37を読んで、呼吸と光合成のしくみについてノートにまとめる。 【気をつけること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 丁寧な字で書きましょう。 ・ 図17を参考にして考えましょう。
<p style="text-align: center;">英語</p>	<p>単元名【Unit 2】 part 1 教科書 p30～p31 ①教科書p30を読んで、Readに日本語で答えてみましょう。 ②新しい語句の意味をP132～141のWord Listを参考に調べましょう。 ③新しい語句を、4線上に書いてみましょう。 ④本文を書き方に注意して、4線上に書き写してみましょう。 【気をつけること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大まかな内容を読みとるようにしましょう。 ・ 教育委員会作成の学習支援動画を参考にすることもできます。 ・ インターネット上の、英単語を発音する無料サイトなども活用できます。 ・ アルファベットの高さに気をつけながら、4線上に書きましょう。